

令和5年度農業委員会の農地利用の最適化の推進の状況その他事務の実施状況の公表

都道府県名： 島根県

農業委員会名： 吉賀町農業委員会

I 農業委員会の状況（令和5年4月1日現在）

※ 「I 農業委員会の現況」については、別紙様式1の内容を転記

1 農業委員会の現在の体制

任命・委嘱年月日 令和3年5月23日

任期満了年月日 令和6年5月22日

	農業委員	
	定数	実数
農業委員数	12	12
認定農業者	—	7
認定農業者に準ずる者	—	—
女性	—	1
40代以下	—	2
中立委員	—	1

	定数	実数	担当区域数
農地利用最適化推進委員	11	11	11

2 農家・農地等の概要

	経営体数
総農家数	702
農業経営体数	459

※ 直近の「農林業センサス」又は「農業構造動態調査」に基づいて記入

	農業者数(人)
基幹的農業従事者数	449
女性	151
40代以下	37

※ 直近の「農林業センサス」又は「農業構造動態調査」に基づいて記入

	経営体数（経営体）
認定農業者	29
基本構想水準到達者	1
認定新規就農者	4
農業参入法人	2
集落営農経営	12
特定農業団体	0
集落営農組織	12

※農業委員会調べ

単位: h a

	田	畑	計			
			普通畑	樹園地	牧草畑	
耕地面積	727	118				845

※ 直近の「耕地及び作付面積統計」に基づいて記入

Ⅱ 最適化活動の実施状況

【農業委員会の実績及び点検・評価結果】

※ 「現状及び課題」及び「目標」については、別紙様式1の内容を転記

1 最適化活動の成果目標

(1) 農地の集積

①現状及び課題

現状	管内の農地面積(A)	これまでの集積面積(B)	集積率(B)／(A)
	845 ha	197 ha	23.3 %
課題	貸し手の意識に所有に対する執着心があり集積が進まない。 担い手の高齢化、また後継者不足が課題。		

※1 農地面積は、直近の「耕地及び作付面積統計」における耕地面積を記入

※2 「農地の集積」は、経営局長通知の別表1に掲げる者への農地の集積をいう

※3 「集積面積」は、局長通知別表1に掲げる者へ集積された農地の面積をいう（以下同じ。）

②目標

農地の集積の目標年度	令和5年度	集積率	54 %
今年度の新規集積面積	128 ha	農地面積(C)	845 ha
今年度末の集積面積（累計）(D)	325 ha	(目標)今年度末の集積率 (E)=(D)／(C)	38.5 %

※ 農地の集積の目標年度及び農地集積率には、設定した目標の根拠とした目標の目標年度及び当該目標年度における農地集積率を記入

③実績

今年度の新規集積面積	4.5 ha	農地面積(F)	845 ha
今年度末の集積面積（累計）(G)	202 ha	今年度末の集積率 (H)=(G)／(F)	23.9 %
目標に対する達成状況(H)／(E)	62.1 %		

農業委員会の点検結果	法人への集積が進んでいる。 今後、圃場整備や集落営農の組織化が計画されている地域では、集積が進むと思われる。
------------	---

※1 今年度の新規集積面積は、当該年中の集積面積（フロー）を記入

※2 今年度末の集積面積（累計）は、年度末時点の集積面積（ストック）を記入

(2) 遊休農地の発生防止・解消

①現状及び課題

現状	直近の利用状況調査により判明した遊休農地の状況		
	1号遊休農地面積	うち緑区分の遊休農地面積	うち黄区分の遊休農地面積
	75 ha	53 ha	22 ha
	耕作者の高齢化と地域の担い手不足。 鳥獣被害の多発。 遊休農地の所有者等への指導。 新たに遊休農地を発生させない取り組みが必要。		

②目標

ア 既存遊休農地の解消

a 緑区分の遊休農地の解消

令和3年度の利用状況調査における緑区分の遊休農地面積	44.0 ha
緑区分の遊休農地の解消目標面積(C)	9.0 ha

※ 緑区分の遊休農地の解消目標は、令和3年度の利用状況調査における緑区分の遊休農地面積の5分の1の面積を記入

b 黄区分の遊休農地の解消

令和3年度の利用状況調査における黄区分の遊休農地	15.0	ha
--------------------------	------	----

黄区分の遊休農地の解消のための工程表の策定方針	基盤整備担当部局との情報共有を行い解消に努める。	
-------------------------	--------------------------	--

イ 新規発生遊休農地の解消

前年度に新規発生した緑区分の遊休農地の解消目標面積	23.0	ha
---------------------------	------	----

③実績

ア 既存遊休農地の解消

a 緑区分の遊休農地の解消

今年度の緑区分の遊休農地の解消実績面積(D)	1.2	ha
今年度の目標に対する達成状況(D)/(C)	13.3	%

b 黄区分の遊休農地の解消

黄区分の遊休農地の解消に向けた工程表の策定状況	抜月河内地区で圃場整備事業を進めており、この地域の遊休農地の解消に繋げる。
-------------------------	---------------------------------------

イ 新規発生遊休農地の解消

前年度に新規発生した緑区分の遊休農地の解消実績面積	0.6	ha
---------------------------	-----	----

④その他

農地の利用状況調査	調査実施時期		調査結果取りまとめ時期	
	令和5年8月		令和5年11月	
	1号遊休農地の面積	106.5 ha	うち緑区分の遊休農地	68.6 ha
			うち黄区分の遊休農地	37.9 ha
農地の利用意向調査	調査実施時期		調査結果取りまとめ時期	
	令和6年2月		令和6年3月	

農業委員会の点検結果	耕作者の高齢化や担い手不足のため、遊休農地は増加している。また、鳥獣被害が耕作意欲を低下させている。地域ぐるみの農地保全活動等、新たに遊休農地を発生させない取り組みが必要である。
------------	---

(3) 新規参入の促進

①現状及び課題

現状	令和2年度新規参入者	3年度新規参入者	4年度新規参入者
	2 経営体	0 経営体	1 経営体
	1.2 ha	0.0 ha	0.1 ha
課題	農業者の高齢化や農業後継者の不足により、地域の農業の担い手が減少している。担い手の育成・確保、新規参入の育成を図っていく必要がある。また、農地の貸し出し希望など、日ごろから情報収集をすることが必要である。		

※ 現状欄は、直近3年度の新規参入した経営体数と当該経営体に集積した農地面積を記入

②目標

権利移動面積	令和元年度	令和2年度	令和3年度	平均
	21 ha	30 ha	54 ha	35 ha
新規参入者への貸付等について農地所有者の同意を得た上で公表する農地の面積(A)			3.5	ha

※1 過去3年間の権利移動面積は、農地法（昭和27年法律第229号）第3条第1項に基づく許可及び農業経営基盤強化促進法第19条に基づき公告された農用地利用集積計画による権利移動面積（有償所有権移転（所有権に基づいて耕作の事業に供していたものに限る。）及び賃借権の設定並びに利用権の設定に限る。）を記入

※2 目標面積は、過去3年度の権利移動面積の平均の1割以上を記入

③実績

新規参入者への貸付等について農地所有者の同意を得た上で公表した農地の面積 (B)	2.5	ha
公表URL	https://www.town.yoshika.lg.jp/sangvou/nougyou/nougyouiinkainosenkyo/sinkisannyuunoutimenseki.html	
目標に対する達成状況 (B)/(A)	71.4	%
(参考) 新規参入者の参入状況	参入経営体数	3 経営体
	取得農地面積	1.4 ha

農業委員会の点検結果	新規就農者との情報交換を行い、農地情報の提供や就農計画等の作成支援を継続的に行っていく必要がある。
------------	---

※ 参入経営体数は、農地を取得して新たに農業に参入した経営体数を記入

2 最適化活動の活動目標

(1) 推進委員等が最適化活動を行う日数目標

1人当たりの活動日数	6 日/月	最適化活動を行う農業委員の人数	12 人
		農地利用最適化推進委員の人数	11 人

(2) 活動強化月間の設定

①目標

活動強化月間の設定回数	3 回
-------------	-----

取組時期	取組項目	強化月間の内容
11月、12月	遊休農地の解消	遊休農地の所有者への今後の意向確認の実施 (利用状況調査後)
8月	農地の集積	人・農地プランの話し合い強化月間として、町産業課と連携して話し合いに参加する。農地の所有者への貸し出しの意向調査の実施

※1 取組項目欄は、①農地の集積、②遊休農地の発生防止・解消、③新規参入の促進のいずれかを記入

※2 強化月間の内容欄は、活動強化月間の具体的な取組の内容を記入

②実績

活動強化月間の設定回数	3 回
-------------	-----

取組時期	取組項目	強化月間の結果
2月、3月	遊休農地の解消	地区の話し合いに参加し、遊休農地の所有者の状況の把握と解消に向けた話し合いを実施した。
12月、2月	農地の集積	地域計画の強化月間として、町産業課と連携して話し合いに参加した。耕作者と所有者の意向調査を実施した。

※ 強化月間の結果欄は、強化月間中に行った具体的な取組の内容とその結果生じた効果等の内容を記入

(3) 新規参入相談会への参加

①目標

新規参入相談会への参加回数	1 回
---------------	-----

開催時期	未定	相談会名	未定
参加者数	1人	開催場所	未定
相談会の内容	新規就農者を対象とする相談会への参加。		
開催時期		相談会名	
参加者数		開催場所	
相談会の内容			

※1 新規参入相談会への参加回数欄は、推進委員等が1名以上参加する相談会の数を記入
(参加者数によらず、1名以上が参加する新規参入相談会ごとに1回とする)

※2 複数の新規参入相談会に参加する場合は、適宜、開催時期以下の欄を追加する

②実績

新規参入相談会への参加回数	2 回
---------------	-----

開催時期	令和5年11月19日	相談会名	東京Uターンフェア
参加者数	1人	開催場所	東京国際フォーラム
相談会の内容	島根県への移住を希望する者に向けた相談会。農業委員1名が出席した。 吉賀町で就農を希望する人の相談を受け、地域や農業の状況を説明した。		
開催時期	令和6年1月20日	相談会名	新・農業人フェア
参加者数	1人	開催場所	東京国際フォーラム
相談会の内容	移住・就農相談など、農業を始める方へ様々な情報を提供する相談会に推進委員1名が参加。 吉賀町ブースには7人の相談があった。		

※1 新規参入相談会への参加回数欄は、推進委員等が1名以上参加した相談会の数を記入
(参加者数によらず、1名以上が参加した新規参入相談会ごとに1回とする)

※2 複数の新規参入相談会に参加した場合は、適宜、開催時期以下の欄を追加する(評価点欄は追加しない)

目標の達成状況の評語

目標に対して期待どおりの結果が得られた

※ 別表に基づいて成果目標及び活動目標の各目標の達成状況に対する評語を記入

【推進委員等の点検・評価結果】

評語	推進委員等の人数
目標に対し期待を大幅に上回る結果が得られた	
目標に対し期待を上回る結果が得られた	
目標に対して期待どおりの結果が得られた	
目標に対して期待を(やや)下回る結果となった	23

※ 別表に基づいて成果目標及び活動目標の各目標の達成状況に対する評語ごとの該当する推進委員等の人数を記入